

12月22日(火) 第1日目 A会場

13:55~14:00

会長挨拶 佐野 栄紀 (高知大学)

14:00~14:40 共同研究シンポジウム

共同研究シンポジウム

座長：加藤 則人 (京都府立医科大学)

矢上 晶子 (藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科)

- 1 アレルギー皮膚疾患における病識と治療意欲に関する調査
金子 栄 (島根大学) ほか
- 2 パッチテスト(PT)試薬供給システム構築の具体的な試みと接触皮膚炎疫学調査～
日本接触皮膚炎研究班 (JCDRG) ～
関東 裕美 (東邦大学医療センター大森病院)
- 3 乳児期の噛み与えと生活関連因子による革新的アレルギー予防法の疫学研究
久保 良美 (和歌山県立医科大学) ほか
- 4 アトピー性皮膚炎患者における Dirty Neck (さざ波状の色素沈着) の発症と進展
のリスクファクターの検討
近藤由佳理 (市立池田病院) ほか
- 5 薬疹データベース構築の進捗状況
橋爪 秀夫 (磐田市立総合病院)

14:40~15:10 最優秀論文賞授賞式・受賞講演

最優秀論文賞授賞式・受賞講演

座長：戸倉 新樹 (浜松医科大学細胞分子解剖学講座)

CCR5 is a novel target for the treatment of experimental alopecia areata

Taisuke Ito (Department of Dermatology, Hamamatsu University
School of Medicine) ほか

Efficacy of anti-immunoglobulin E therapy in patients with prurigo : a pilot study

Tsukasa Ugajin (Department of Dermatology, Graduate School, Tokyo
Medical and Dental University) ほか

15:10~15:20

優秀演題賞授賞式

15:30~16:30 シンポジウム

(皮膚科領域講習)

シンポジウム 1 Cutaneous Immunology over the World

座長：秋山 真志 (名古屋大学)

小林 里実 (聖母病院)

S1-1 Immunology in the pathogenesis of psoriasis

Michel Gilliet (Department of Dermatology, Lausanne University Hospital CHUV, Switzerland)

S1-2 T-cell lymphoma

Kevin D. Cooper (Department of Dermatology, Case Western Reserve University and University Hospitals Cleveland Medical Center, USA)

16:35~17:50 シンポジウム

(皮膚科領域講習)

シンポジウム 2 食物アレルギーの最前線

座長：森田 栄伸 (島根大学)

千貫 祐子 (島根大学)

S2-1 魚アレルギーの新規アレルゲン

山本真有子 (高知大学) ほか

S2-2 小児の食物アレルギー最前線

海老澤元宏 (国立病院機構相模原病院臨床研究センター)

S2-3 大人の食物アレルギー最前線：食物依存性運動誘発アナフィラキシーと口腔アレルギー症候群

森田 栄伸 (島根大学)

17:55~18:55 イブニングセミナー

イブニングセミナー 1 The comprehensive approach to psoriatic disease management

座長：奥山 隆平 (信州大学)

天谷 雅行 (慶應義塾大学)

ES1-1 本気で痩せる！？30分 HIIT！！

宮城 拓也 (琉球大学)

ES1-2 The New Cornerstone of Psoriasis Care in 2020 : IL-17A Targeting treatment in Psoriasis

Michel Gilliet (Department of Dermatology, Lausanne University Hospital CHUV, Switzerland)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル本部

12月22日(火) 第1日目 B会場

15:30~16:20 一般演題

アトピー性皮膚炎 1

座長：小宮根真弓 (自治医科大学)

荒瀬 規子 (大阪大学)

- 001 新規外用 JAK 阻害剤デルゴシチニブの作用メカニズム解析
山本 泰生 (日本たばこ産業医薬総合研究所生物研究所/京都大学) ほか
- 002 アトピー性皮膚炎における亜鉛トランスポーター ZIP10 の関与
中島喜美子 (高知大学) ほか
- 003 Both human β -defensin-3 and autophagy are needed for maintenance of the skin barrier
彭 戈 (順天堂大学) ほか
- 004 Antimicrobial peptide AMP-IBP5 regulates skin barrier function
グエンレータインハイ (順天堂大学) ほか
- 005 成人アトピー性皮膚炎患者における角層 SCCA2 と血清 SCCA2 の検討
中西 麻理 (京都府立医科大学皮膚科) ほか

16:25~17:15 一般演題

アトピー性皮膚炎 2

座長：中島喜美子 (高知大学)

大塚 篤司 (京都大学)

- 006 瞬芽ブドウ種子エキス iGS4000 のアトピー性皮膚炎に対する基礎的検討
宇都 義浩 (徳島大学応用生命講座) ほか
- 007 新規外用 JAK 阻害剤デルゴシチニブの抗そう痒作用のメカニズム解析
山本 泰生 (日本たばこ産業医薬総合研究所生物研究所/京都大学) ほか
- 008 Genome-wide association study による日本人 IgE 値を規定する遺伝子群の同定
志藤 光介 (東北大学) ほか
- 009 経皮アレルゲン投与はプロテアーゼ及び IL-33 による経気道アレルゲン感作を予防する
国峯 真也 (順天堂大学) ほか
- 010 アトピー性皮膚炎患者における血漿中 miR24 と miR191 の検討
前野 美里 (京都府立医科大学) ほか

17:20～18:20 イブニングセミナー

イブニングセミナー2 Update on Inflammatory Skin Disease

座長：池田 志孝（順天堂大学）

ES2-1 さらなる転換点を迎えた乾癬治療
～スキリージの1年を超える使用経験をふまえて～

山崎 文和（関西医科大学）

ES2-2 高脂肪食による毛包角化・炎症促進のメカニズム

本田 哲也（浜松医科大学）

共催：アッヴィ合同会社

18:25～19:25 イブニングセミナー

イブニングセミナー3 外用剤を用いた診療のテクニック

座長：森田 明理（名古屋市立大学）

森実 真（岡山大学）

ES3-1 パーソナライズ化外用療法における重要な視点

山口 由衣（横浜市立大学）

ES3-2 乾癬難治部位に対する配合外用剤の効果的な使い方

新井 達（聖路加国際病院）

共催：レオファーマ株式会社/協和キリン株式会社